



平成30年 9月 5日発行 No.17

巻 頭 言



和歌山市開業 金尾 好章

小児歯科医として、子ども達の健康のために長年行っているプライベートな活動を紹介させていただきます。

「タバコ、酒、砂糖」に、もっと課税すれば死亡率は下がり、全ての人間の死亡原因の70%は生活習慣病からと、提言される学者もいる。昼ランチ後のコーヒーとチョコ、そして、ビールが無ければ一日が終わらない私の体質には実践しにくい。私の住む、過疎化の進む和歌山県（人口96万）、和歌山市（人口36万）での、ボランティア活動「和歌山禁煙教育ボランティアの会」（「禁ボラ」と呼んでいます）の報告をいたします。平成14年、当時の和歌山県教育長の英断で、県内の公立保育所、幼稚園から高校まで、全施設での敷地内禁煙が全国47都道府県の中で、初めて条例化され、すぐに実施されました。それを機に、学校医の医師（主に内科・小児科医）、歯科医師（4名）、薬剤師など15名程度が中心になり、まず、和歌山市内公立小学校（全53校全て）への「タバコの害」についての出前授業が始まり、すでに16年が経過し、現在も続いています。また、この会では2ヶ月に1回の例会等を通じて、活動の経過、感想等を報告しあっています。

私の担当する小学校は6校あり、小学校のごく限られた時期に、私の昼休み時間を延長し、主に小学3、4年生と、または6年生の2学年を対象に、各約1時間の授業を行います。その数日後には、生徒からの感想文が養護教諭から届きます。この感想文を読むと、タバコによる害、受動喫煙等への理解だけでなく、「父親のタバコをやめさせたい」「母親が赤ちゃんの前で吸うのはアカン」など、小学校低学年でも自分の健康を考えるだけでなく、家族や知人の健康を真剣に心配し、命の大切さについて考えている姿が目に見えます。和歌山市以外の地域でも同じような公立小、中学校への禁煙教育も次第に広まり現在に至っています。忙しい学校行事の中で、貴重な時間を割いての恒例の授業として定着し、タバコに対する時代背景もあり、一地域としてはそれなりの一定の成果が出たものと勝手に理解しています。

新たな問題もあります、アイコスをはじめとする「電子タバコ・無煙タバコ」の急速な普及です。タバコには違いはありませんので、喫煙者への害はタバコと同じと思われますが、受動喫煙に関しても、それぞれの有害エビデンスがまだ明確でないことです。

また、私も含め、会メンバーも高齢化が進み、「体力的にも少し…」と言いながらも、小学生の感想文を読ませていただくと、もう少し続けていこうと足が向きます。

大阪小児歯科専門医臨床研究会（OSP）の紹介

大阪小児歯科専門医臨床研究会（OSP）は昭和52年に大阪の地に産声を上げて、今年で早や40年が過ぎました

設立当時は、日本では乳歯が生えそろうばかりの3歳児で90%以上が既にむし歯に罹患し、その治療をしてもらえないと社会問題になるほど酷いものでした。そのような社会背景の中3人の小児歯科の専門医を目指した歯科医の仲間が誕生したのです。

その後3人は大阪梅田界隈で定期的に集い徐々に仲間が加わり10人ほどの会へと成長し本格的な活動を始めたのです。

本会の活動の柱は、①月例会、②研修会、③Dr 研修会、④OSP 会誌の出版、⑤小児歯科専門医の社会への認知活動、⑥会員相互の親睦活動などですが、この数十年間途切れることなく取り組まれてきました。

今回はこの中からいくつかをご紹介します。

②の研修会は毎年1回以上秋の学会シーズンに、口頭発表、特別講演が行われています。発表はできれば医院のスタッフに取り組んでもらおうと声をかけています。平成29年度は第60回の研修会を盛会裏に開催しました（図1）。



（図1）第60回 OSP 研修会

④の OSP 会誌は2、3年に一度研修会の演題抄録や投稿などを収録し発行しており現在通巻第17号を数えています。ちなみにこの会誌の別冊が全国の小児歯科医院の紹介網として出版され、これが延いては今年30周年を迎えた全国小児歯科開業医会（JSP）発足へと繋がっていったのです。

⑤の小児歯科専門医の認知、広報活動は当初は新聞、雑誌などへの投稿が主でしたが、ホームページでの「質問コーナー」などを先駆けて取り組み、多くの利用者がありました。現在は他の多くのサイトに押され開店休業状態です。

一方、広報活動の一環として10年ほど前から小児歯科専門医の存在をアピールするために毎年「歯と口の健康週間」に合わせて天王寺動物園で展示、講演、相談に取り組んできました

が、これが大阪府歯科医師会、毎日新聞社の目に留まり主催がこの両者に代わり OSP は協力者となり「カバのテツオ君の歯磨き教室」として実施しています。「子どものための歯科相談」にも取り組み毎回100人以上が相談に訪れ盛況で、大阪府歯科医師会の看板行事の一つになります（図2）。

以上、OSP の活動の一端を紹介させていただきましたが OSP も当初の会員は70歳を超え鬼籍に入った人、リタイアした人に入れ替わり新しい会員へと様変わりして来ています。志を同じくといっても社会状況が変化していく中でどのように対処していくのか試されるこの頃です。

今後とも近畿地方会の先生方のご支援、ご指導の程よろしくお願いいたします。

（大橋 健治 記）



（図2）OSP 天王寺動物園活動 H30.6.3

第36回日本小児歯科学会近畿地方会大会および総会



第36回日本小児歯科学会近畿地方会大会および総会は、平成29年10月15日（日）に大阪歯科大学歯学部小児歯科学講座担当のもと、大阪歯科大学楠葉学舎にて開催されました。当日は雨天にもかかわらず、歯科医師273名、コ・デンタルスタッフ100名の参加を賜りました。

わが国は、すでに超高齢・少子・人口減少社会に突入しており、近い将来、これまでと異質の社会が到来すると予測されています。このような未曾有の社会変化において、未来を変えうる子どもたちの、特に「こころとからだ」の健康はますます重要性が増加してくると考えられます。とくに、超高齢社会での第一の目標は「健康寿命の延伸」であり、歯科では「歯の寿命の延伸」によって貢献できます。そのためには、小児期の口腔健康増進が最重要課題となるため、小児歯科も小児の50年以上先まで見据えた臨床へと新たな変化が求められています。そこで、本大会のメインテーマは、「小児歯科医療の新たな展開を求めて ～つながりの中で子どもを育む～」とし、企画を行いました。

特別講演は、林整形外科院長、特定非営利活動法人全国ストップ・ザ・ロコモ協議会（SLOC）副理事長の林承弘先生に、「姿勢と子どもロコモ」と題して今日の子どもの身体の変遷についてお話頂きました。教育講演は、高田歯科院長の高田光彦先生に、「攻めの保存治療－MTAとCRの活用－」と題して、歯の寿命の延伸に最も重要な歯髄保存に関して新しい方法についてご講演頂きました。さらに認定歯科衛生士セミナーでは、大阪歯科大学歯学部口腔衛生学講座講師の土居貴士先生に、「カリエスリスクについて考える」と題して、新しい初期齲蝕検出法および齲蝕管理法についてお話頂きました。各講演とも熱心に聴講いただき、多くの参加者の皆様にとって今後の臨床への大きな糧となったことと思います。

また、一般展示発表は24題の発表があり、さらに専門医更新発表2題、認定歯科衛生士申請発表1題、計27題の発表に関して有意義な討論が交わされました。商業展示では10社の出展をいただきました。

本大会の開催にあたり、日本小児歯科学会担当理事の先生方、関係された多くの皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

次回の第37回近畿地方会大会は、平成30年9月30日（日）に、大会長岡本篤剛先生のもと生田神社会館で開催されますので、多数のご参加をお願い申し上げます。

（準備委員長 原田 京子 記）

平成30年度 日本小児歯科学会地方会開催日程

◆北日本・関東地方会

第36回北日本地方会・第33回関東地方会合同大会および平成30年度総会

大会テーマ：「小児歯科を再考する－9020を目指して－」

日 時：平成30年10月6日（土）7日（日）

会 場：宇都宮市文化会館（宇都宮市明保野町7-66）

大 会 長：福本 敏

実行委員長：田中 英一

準備委員長：山田 亜矢・小方 清和

大会日程：10月6日（土）1日目 17：00～19：00

プレセミナー

1. 「小児期におけるⅡ級咬合の治療について」
福永 智広先生（東北大学病院矯正歯科講師）
2. 「小児歯科医が発見できる小児の全身疾患」
山田 亜矢先生（東北大学大学院歯学研究科小児発達歯科学分野准教授）
3. 「脳の発達から考える子どもの睡眠と生活習慣の重要性」
成田奈緒子先生（文教大学教授）

歯科衛生士交流企画ラウンドテーブルディスカッション

「子どもたちに関わる歯科衛生士の集い」

10月7日（日）2日目 9：15～17：00

基調講演

1. 「小児歯科を再考する－9020を目指して－」
福本 敏先生（東北大学大学院歯学研究科小児発達歯科学分野教授）
2. 「子どもたちのための多職種連携－9020達成に向けて－」
田中 英一先生（日本小児歯科学会関東地方会前会長）

特別講演

「小児の神経疾患について」

小坂 仁先生（自治医科大学小児科学講座小児医学部門教授）

ランチョンセミナー

1. 「小児歯科における S-PRG フィラーの応用～臨床予後と使用上の注意点」
日野 綾子先生（東北大学病院小児歯科助教）
2. 「小児の口唇閉鎖力～臨床現場でのりっぶるくん」
野上有紀子先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学分野歯科衛生士）

市民公開講座（大ホール）13：00～14：00

「家族のふれあいコンサート IN キラキラ栃木」

フルーティスト 山形 由美氏

臨床講演

1. 「小児の外傷に対する処置について」
清水 邦彦先生（日本大学松戸歯学部小児歯科学講座准教授）
2. 「小児の歯の形成異常について」
櫻井 敦朗先生（東京歯科大学小児歯科学講座講師）
3. 「小児の歯髄処置について」

倉重 圭史先生（北海道医療大学小児歯科学講座講師）

4. 「小児の口腔細菌叢について」

齋藤 幹先生（東北大学大学院歯学研究科小児発達歯科学分野講師）

歯科衛生士セミナー（認定歯科衛生士 認定更新必須研修セミナー）

「こころに届く食育支援

～本当の『いただきます』を伝えられる歯科衛生士を目指して～」

魚戸おさむ先生

ポスター発表

(1) 一般演題発表

(2) 認定歯科衛生士資格申請発表

資格更新用ケースプレゼンテーション

(1) 専門医・認定医資格更新用プレゼンテーション

(2) 認定歯科衛生士資格更新用プレゼンテーション

商業展示

懇親会：平成30年10月7日（日）17：00～

宇都宮市文化会館内レストラン

大会事務局：第36回北日本地方会準備委員会事務局

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4番1号

東北大学大学院歯学研究科口腔保健発育学講座

小児発達歯科学分野内 準備委員長 山田 亜矢

第33回関東地方会準備委員会事務局

〒183-8561 府中市武蔵台2-8-29

東京都立小児総合医療センター小児歯科

準備委員長 小方 清和

E-mail：kita36kantoh33@gmail.com（お問い合わせはメールでお願いいたします）

◆中部地方会

第37回日本小児歯科学会中部地方会大会および総会

大会テーマ：「生きる力として、食を考える」

大会長：仲井 雪絵

準備委員長：本多 正典

日時：平成30年11月4日（日）9：10～16：20

会場：グランシップ（静岡コンベンションアーツセンター）

〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2-3-1

TEL：054-203-5710（代表）

大会内容：1）特別講演

「“弁当の日”で何が育つか」（“弁当の日”に託した夢）

竹下 和男先生（子どもが作る“弁当の日”提唱者）

2）教育講演

「歯科医師から見た食育」

岡崎 好秀先生（モンゴル医学科学大学客員教授）

3）歯科衛生士セミナー

「こどもの食物アレルギーとのつきあい方 ～離乳食・幼児食の支援のポイント～」

長谷川実穂先生（昭和大学医学部小児科学講座研究補助員、
小児アレルギーエデュケーター）

- 4) ポスター発表
 - (1) 一般演題発表
 - (2) 専門医・認定医、認定歯科衛生士資格更新ケースプレゼンテーション
- 5) 総会
- 6) 商業展示

懇親会：同日 12：10～13：10（学会会場にて）

（※懇親会参加費：大会昼食時に懇親会を開催するため、参加登録費に含む）

大会事務局：〒425-0081 静岡県焼津市大栄町2-1-1

本多こども歯科

TEL：054-626-2323 FAX：054-626-2326

E-mail：1104shizuoka@gmail.com

お知らせ：アジアを代表するフェスティバル“大道芸ワールドカップ in 静岡”が同時期に開催されます。多くの人出が予想されますので、宿泊予定の方は早急にお手配ください。

◆中四国地方会

第37回日本小児歯科学会中四国地方会大会および総会

テーマ：「生きる力」と「育てる心」

会期：平成30年11月4日（日）9：30～15：30

会場：とくぎんトモニプラザ 〒770-0851 徳島県徳島市徳島町城内2-1

TEL：088-625-3852

大会長：岩本 勉（徳島大学大学院医歯薬学研究部小児歯科学分野）

準備委員長：上田 公子（徳島大学病院小児歯科）

大会内容：1) 特別講演 I

『小児医療 up-to-date いのちを守り、育て、つなぐために』

香美 祥二先生（徳島大学大学院医歯薬学研究部小児科学分野教授）

2) 特別講演 II

『「胎児科学」をめざして』

大谷 浩先生（鳥根大学医学部解剖学講座発生生物学教授）

3) 教育講演 I

『発達期における味覚と嗅覚』

吉村 弘先生（徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔分子生理学分野教授）

4) 教育講演 II

『阿波っ子の笑顔 あるでないで』

阿部 昭人先生（徳島県歯科医師会常務理事）

本講演は認定衛生士認定更新必須研修セミナーを兼ねる予定です。

5) 一般発表（ポスター発表のみ）

6) 専門医・認定医更新発表

7) 認定衛生士更新発表

8) 平成30年度総会

9) 商業展示

10) ランチョンセミナー（株式会社 松風）

11) 託児所設置 (要事前予約)

懇親会：11月3日(土) 19時予定

大会事務局：第37回日本小児歯科学会中四国地方会大会事務局

〒770-8504 徳島市蔵本町3-18-15

徳島大学大学院医歯薬研究部小児歯科学分野内

E-mail：kimiko_ueda@tokushima-u.ac.jp

◆九州地方会

第36回九州地方会大会および総会

大会テーマ：「多職種連携における小児歯科の役割」

大会長：尾崎 正雄 (福岡歯科大学成育小児歯科学分野教授)

準備委員長：岡 暁子 (福岡歯科大学成育小児歯科学分野准教授)

日時：平成30年10月21日(日) 8:30~17:00 (予定)

会場：福岡県歯科医師会館4・5F 福岡市中央区大名1-12-43

大会内容：1) 特別講演

「小児医療センターにおける小児歯科と多職種連携および乳歯歯髄幹細胞の魅力」

田口 智章先生 (九州大学医学研究院生殖発達医学講座小児外科学分野教授)

2) 記念講演

「私たちの小児歯科・スペシャルニーズ歯科での臨床とトランスレーショナル研究」

野中 和明先生

(九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進講座小児口腔医学分野教授)

3) 教育講演

「ことばが気になるこどもへの対応 歯科医師と言語聴覚士の連携」

杉山 千尋先生 (大阪大学附属病院顎口腔機能治療部助教 言語聴覚士)

4) 歯科衛生士セミナー

「患者さんのパフォーマンスを起こすコミュニケーション - コーチングの応用 -」

江口 正勝先生 (銀座コーチングスクール福岡校代表)

5) シンポジウム「専門領域の立場から考える埋伏歯治療」

(1) 「臼歯萌出障害の原因を診断する」

岡 暁子先生 (福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野准教授)

(2) 「埋伏犬歯の3次元診断と牽引方向」

玉置 幸雄先生 (福岡歯科大学成長発達歯学講座矯正歯科学分野教授)

(3) 「萌出障害に取り組むための視点と注意点

- 基本的なマネジメントから牽引装置の理解まで -」

石谷 徳人先生 (医療法人イシタニ小児・矯正歯科クリニック院長)

6) ランチョンセミナー

「(内容未定)」

株式会社 松風

7) ポスター発表

(1) 一般演題発表

(2) 専門医・認定医・認定歯科衛生士更新用プレゼンテーション

8) 商業展示

大会事務局：福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野内

〒814-0193 福岡市早良区田村 2-15-1
 TEL：092-801-0411（代表） FAX：092-801-0692（直通）
 E-mail：kped2018@college.fdcnet.ac.jp
 HP：http://www.fdcnet.ac.jp/col/36shoniq/gaiyo.html

全国地方会別会員数（H30年3月31日現在）

	正会員	準会員	名誉会員	専門医指導医	専門医 (指導医を含む)	認定医	認定歯科衛生士	賛助会員
北日本	504	38	6	38	149	12	15	
関東	1,695	137	16	86	407	39	22	
中部	579	43	2	29	150	11	16	
近畿	605	54	3	22	157	18	27	
中四国	380	40	3	20	117	3	12	
九州	541	39	3	28	147	14	23	
合計	4,304	351	33	223	1,127	97	115	26

近畿地方会県別会員数（H30年6月現在）

	正会員	衛生士会員	名誉会員	会員数合計	専門医指導医	専門医 (指導医を含む)	認定医	認定歯科衛生士
滋賀	37	5	0	42	1	11	2	1
京都	60	0	0	60	1	10	1	3
大阪	337	29	2	368	16	82	10	17
兵庫	156	20	1	177	4	44	4	3
奈良	34	8	0	42	0	7	2	3
和歌山	15	2	0	17	0	4	0	0
合計	639	64	3	706	22	158	19	27

平成30年度 こども健康週間県別代表者

府 県 名	代表者名
大阪府	梶本祐一郎 先生
兵庫県	春木 隆伸 先生
京都府	笹井 浩司 先生
奈良県	池尾元三朗 先生
和歌山県	金尾 好章 先生
滋賀県	池本 博之 先生

日本小児歯科学会近畿地方会 平成29年度収支計算書

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

科目	予算額	決算額	差異	執行率	備考
I. 収入の部					
会費収入					
入会金	0	0	0	0%	
会費収入	0	0	0	0%	
賛助会費収入	0	0	0	0%	
事業収入					
大会収入	未検討	2,104,857	-	-	地方会大会収入合計（近畿地方会事務局準備金を含む） ※別途大会決算書を添付
広告収入	0	0	-	-	雑誌、ホームページ、ニュースレター等の広告 ※地方会大会のプログラム等の広告は大会収入
寄付金収入					
寄付金収入	850,000	858,000	8,000	101%	本部からの補助金等
雑収入					
受取利息	10	2	-8	20%	
雑収入	0	0	0	0%	
当期収入合計(A)	-	2,962,859	-	-	
前期繰越収支差額	0	0	0	0%	
収入合計(B)	-	2,962,859	-	-	
II. 支出の部					
事業費					
会誌刊行費	200,000	197,640	-2,360	99%	会誌・ニュースレター等
大会補助金	500,000	500,432	432	100%	地方会大会への補助金
大会事業費	未検討	2,104,857	-	-	地方会大会支出合計 ※別途大会決算書を添付
関連団体年会費	0	0	0	0%	
表彰費	0	0	0	0%	
什器備品減価償却額	0	0	0	0%	
管理費					
各種委員会費	0	0	0	0%	委員会関係の支出
本部会議費	50,000	33,400	-16,600	67%	役員会開催費・出張費・慶弔費等
事務費	(本部会議費に含む)	(本部会議費に含む)			印刷費・通信費・消耗品・雑費等
ホームページ運用費	0	0	0	0%	
雑費	0	0	0	0%	
特別支出					
寄付金支出	0	0	0	0%	
予備費					
予備費	100,010	126,530	26,520	127%	
当期支出合計(C)	-	2,962,859	-	-	
当期収支差(A)-(C)	-	0	-	-	
次期繰越収支差額(B)-(C)	-	0	-	-	

日本小児歯科学会近畿地方会 平成30年度収支予算書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月 31日

科目	予算額	決算額	差異	執行率	備考
I. 収入の部					
会費収入					
入会金	0	0	0	0%	
会費収入	0	0	0	0%	
賛助会費収入	0	0	0	0%	
事業収入					
大会収入	2,104,857	2,100,000	-4,857	0%	地方会大会収入合計（近畿地方会事務局準備金を含む） ※別途大会決算書を添付
広告収入	0	0	0	0%	雑誌、ホームページ、ニュースレター等の広告 ※地方会大会のプログラム等の広告は大会収入
寄付金収入					
寄付金収入	858,000	850,000	-8,000	99%	本部からの補助金等
雑収入					
受取利息	2	2	0	100%	
雑収入	0	0	0	0%	
当期収入合計(A)	2,962,859	2,950,002	-12,857	0%	
前期繰越収支差額	0	0	0	0%	
収入合計(B)	2,962,859	2,950,002	-12,857	0%	
II. 支出の部					
事業費					
会誌刊行費	197,640	200,000	2,360	101%	会誌・ニュースレター等
大会補助金	500,432	500,000	-432	100%	地方会大会への補助金
大会事業費	2,104,857	2,100,000	-4,857	100%	地方会大会支出合計 ※別途大会決算書を添付
関連団体年会費	0	0	0	0%	
表彰費	0	0	0	0%	
什器備品減価償却額	0	0	0	0%	
管理費					
各種委員会費	0	0	0	0%	委員会関係の支出
本部会議費	34,000	50,000	16,000	147%	役員会開催費・出張費・慶弔費等
事務費	(本部会議費に含む)	(本部会議費に含む)			印刷費・通信費・消耗品・雑費等
ホームページ運用費	0	0	0	0%	
雑費	0	0	0	0%	
特別支出					
寄付金支出	0	0	0	0%	
予備費					
予備費	125,930	100,002	-25,928	79%	
当期支出合計(C)	2,962,859	2,950,002	-12,857	0%	
当期収支差(A)-(C)	0	0	0	0%	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	0	0	0%	

《日本小児歯科学会近畿地方会》

2018・2019年度役員名簿

会 長 (常任幹事)	有田 憲司
副 会 長 (常任幹事)	仲野 和彦 ・ 池尾元三朗
会 計	野村 良太 ・ 佐々木秀和
庶 務	春木 隆伸 ・ 岡本 篤剛
監 事	樂木 正実 ・ 松尾 博之
顧 問	嘉ノ海龍三 ・ 梶本祐一郎
歯科衛生士会	永井るみこ
大 学	大川 玲奈 ・ 原田 京子 ・ 阿部 洋子 ・ 園本 美恵
滋 賀 県	池本 博之
京 都 府	大原 裕 ・ 笹井 浩司 ・ 中村 弘之 ・ 仲岡 佳彦
奈 良 県	中川 佳昭 ・ 林 昌司 ・ 松下 標
和歌山県	金尾 好章 ・ 田岡 郁敏
大 阪 府	浅田 匡彦 ・ 吾妻 昭夫 ・ 野々村榮二 ・ 大橋 健治 ・ 大西 智之 川口 護 ・ 榎原 康生 ・ 佐々木有美 ・ 副島 之彦 ・ 中原 弘美 新門 正広
兵 庫 県	石井 信行 ・ 金澤 真亨 ・ 亀井有太郎 ・ 佐伯 克彦 ・ 坂田 滋 竹内 幸雄 ・ 徳永順一郎
名誉会員	祖父江鎮雄 ・ 大嶋 隆 ・ 嘉藤 幹夫

●編集後記

第37回近畿地方会大会のテーマである「心をはぐくむ、体をはぐくむ、未来をはぐくむ」の主語は子どもたちであることはもちろんですが、われわれ小児の医療に携わるすべてのスタッフも主語に据えての企画です。いずれの演者も熱のこもった講演をなさる方ばかりです。スケジュール上すべてを聞くことはできませんので、是非、皆様でお誘いあわせて参加いただき、勉強会・報告会でのネタにしていただけましたらこれほどうれしいことはありません。皆様と会場でお会いできることを楽しみにしております。

(A・O)

今年の夏休みは異常な暑さでした。体温超の気温が普通になってきたのが怖いです。今回のNLは多くの先生方のご協力により、非常に早く出版出来ました。ご執筆いただきました先生方、日昌印刷(株)のスタッフの皆様ありがとうございました。

(T・H)

今回、会報発行にお手伝い頂いた方々

金尾 好章・原田 京子・大橋 健治・野村 良太
岡本 篤剛・田辺健一郎・有田 憲司・仲野 和彦
園本 美恵・春木 隆伸 (敬称略)

《住所変更(会誌送付先の変更)方法》

新・旧住所を事務局あて書面(FAXもしくはE-mail)にて下記までご連絡下さい。

一般財団法人 口腔保健協会内 日本小児歯科学会(事務局)

FAX: 03 (3947) 8341

E-mail: gakkai38@kokuhoken.or.jp

日本小児歯科学会近畿地方会 HP

<http://square.umin.ac.jp/jspd/>

平成30年8月30日 印刷

平成30年9月5日 発行

発行者 一般社団法人 日本小児歯科学会近畿地方会
会報編集委員会

印刷所 日昌印刷(株)